

● 車両の主な調達方法の比較検討

調達方法	メリット	デメリット
購入	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルコストが割安 ・廃棄の際、売却益あり (オークション、スクラップ等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理の手間がかかる。 (車検、法定点検、修繕等)
リース	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の平準化が一定程度図られる。 (購入費のほか車検、修繕等も含む) ・維持管理の手間が不要 (車検、法定点検、修繕等) ・リース期間中の一部車両入替も可 	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルコストが割高 (※長期維持契約の大型省令の耐用年数は6年 (普通車)だが通用で7年としている都道府県が多い) ・リース期間満了後はリース会社へ返却
レンタカー	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時だけ借りることが可能 (稼働日数が少ない場合は割安) 	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働日数が多いと割高 ・必要な時に借りられない可能性がある ・情報漏えいの可能性あり(ドライブレコーダー)
カーシェアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時だけ借りることが可能 (稼働日数が少ない場合は割安) 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に借りられない可能性がある (山口県内だと車種に限られる。)
中古車購入	<ul style="list-style-type: none"> ・調達コストが最安 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全上問題がないかどうか疑問 ・事故などで管理責任を問われる可能性大
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附など 	

- ★株式会社 [] ※へTEL確認
- ・センチュリーは取り扱っていない。(山口県内の営業所ではクラウンが最高級)
(ホームページにあるレクサス(LSクラス、東京営業所)の取り寄せも可能は可能とのこと。)
 - ・通常レンタカーの更新サイクルは3年なので古い車両は通常取り扱っていないとのこと。
 - ・レンタカー(長期)は1カ月単位、官庁への実績では1年契約(年払い)も可能
 - ・リースは最短で3年、通常は5~7年が一般的